

幕別町町議会  
議長

古川 稔



平成26年 9月8日

## 札内支所機能の充実を求める陳情書

平素より町政にご尽力されておりますことを衷心より厚く御礼申し上げます。

## 記

## 1. 札内支所の経過と現況について

[札内福祉センター・札内公民館]は昭和49年5月に現在地に一体構造として建てられたものであり。

札内福祉センターは北海道庁より市町村振興補助金を戴いており、その目的は地域住民の健康増進に寄与する集会施設として補助されたものです。

一方札内公民館は社会教育法に基づき町費を投じたものです。

当時の札内支所管轄地域は、札内・字千住・字途別・字日新・字依田・字古舞・字栄・字豊岡の一部の8公区で、札内市街以外は米作・田作地帯であり、その時点の札内の人口は8,756人。その後51年の民間宅地造成が行われ、町の宅地造成に伴って、平成26年4月1日現在の人口は本町が6,113人に対し、札内地域は19,876人で59公区と急増し、現在も区画整理が行われている現状であります。

以上のような経過をたどり「昭和49年5月の札内福祉センター」の完成に伴い、幕別町の条例を一部改正して、この福祉センターの一部を「間借りして札内支所として面積156㎡(約47坪)」を現在まで40年間も利活用している事は承知のとおりです。

「今般、札内福祉センターの整備方針が決定したことから」、幕別町の諸課題と防災拠点として将来を見越した新庁舎の早期完成を陳情いたします。

## 2. 札内支所の管轄の諸課題について

幕別町の人口70.3%を占める地域となり、少子高齢化に伴って保健福祉・老々介護が大きな問題となっており、更に子供関係につきましては常設保育所・僻地保育所が6ヶ所で411人(町全体の71%)、小学校が5ヶ所で1,218人(76.8%)、中学校が2ヶ所で712人(78.8%)となり、年々増加の傾向にあります。又、平成25年度も札内南小学校に2教室増築しているのはご承知のとおりであります。

昨今の社会情勢の進化に伴って学校教育の環境も大きく変わり、全国的に社会問題になっている子供のいじめ、自殺、虐待などが起る時代になり、先の町議会一般質問でも、町内のいじめがあった事を教育長は答弁している。これを事前に防止するには、いかに教育委員会を始めとして、地元教育関係者と定期的に情報交換を行い、防止することが急務となっている事はご承知のとおりであります。

従いまして「関係職員の適正配置」を強く陳情するものであります。

### 3. 札内支所管轄の大地震、大雨時の危機管理体制について

先の札内福祉センターの耐震結果では、 $I_s$ (強度)の不足により改築が必要であると発表されましたが、札内福祉センターは地域住民の避難場所に指定されており、早急に完成する事が必要があります。

人命尊重の見地から厳しい財政であるが「新庁舎及び札内福祉センター」建設は止むを得ないものと思います。大地震・大雨の場合には橋梁の桁のずれ・落橋・道路の陥没が予想され、その場合はそれぞれの管理者が交通止めをかけ、安全確認まで交通不能になる恐れが予想されます。

又、札内地区は十勝川・札内川・途別川の流域内にあり、途別川浸水区域内でも現在住宅地が10公区もあり、大雨時・地震時には河岸の決壊、堤防の亀裂が発生する恐れがあり、又古舞川上流地区は農業排水整備により浸水区域の対策が急務であり、水門・排水機場の開閉措置は洪水の状況により適正に行わなければならない。

いずれにしても「危機管理体制」を明確にし、特に土曜日・日曜日・祝祭日の夜間、冬期時に発生した場合の「特別職を始めとする指揮命令系統」を日頃から公区長と地域住民に公表し、速やかに対応出来る体制が必要である事は言うまでもありません。

従いまして札内支所管轄は今や「幕別町全体的な指令塔の役目」があり、「何時までも間借りするのではなく」約20,000人の住民に対応出来る、札内支所とし、その中に福祉センター・公民館を一体構造で改築し「諸課題に対応出来る職員の適正配置」を行い、その上、札内在勤地とし、腰を据えた住民とのふれあいのある環境の中で安全安心の出来る「札内支所」の機能充実を強く陳情するものであります。

幕別町新庁舎とまちづくりを考える有志の会

会長 小山 繁 樹

事務局 幕別町札内文京町33番地41

Tel・Fax 0155-56-3310